

アジアで3人目となる世界的資格 ETCP 資格を取得

～高度専門技術の強化により、安全性向上と施工品質のさらなる進化を推進～

株式会社シミズオクトのグループ会社である株式会社大阪シミズ(本社:大阪府大阪市、代表取締役:清水 太郎)は、当社の谷本 鼓子社員(部署:設計部・技術課)が2025年10月、国際的に認められた舞台装置吊り上げ技術の資格 ETCP 資格(資格種別:Rigger-Arena)を取得したことをお知らせいたします。

本資格は世界でも取得者が少なく、アジアではわずか3名のみ[※]という高い専門性が必要な国際資格です。今回の取得により、当社はイベント・ステージ施工における安全性・技術力・品質の大幅な向上を実現し、お客様への提供価値をさらに強化いたします。(※2025年10月現在)

資格取得の背景

大阪シミズは「安全で高品質な空間づくり」を企業理念とし、舞台・イベント施工技術の高度化を重要な経営戦略の一つと位置づけています。

会場設備の大型化・ハイテク化が進む中、国際基準の rigging 技術を持つ人材の育成は急務となっており、今回の「Rigger-Arena」取得は、より高度な安全設計・施工体制の構築と、国際水準での技術対応力強化を目的に進めてきたものです。

ETCP 資格(資格種別:Rigger-Arena)について

ETCP 資格(Rigger-Arena)は、3年以上の実務経験と高度な専門知識が求められる国際的な認定資格です。試験はすべて英語で実施され、監視員とのやり取りも英語で行われました。筆記試験は「荷重計算」「リギング理論」「安全基準(ANSI/OSHA)」「機材特性」などが出題されるため、この分野の高い理解力と実践的な知識が求められます。

ETCP とは、エンタテインメント・テクニシャン認定プログラム(Entertainment Technician Certification Program)の略称で、アメリカのエンターテインメント業界で運用されている舞台技術者の技能認定制度です。

ANSI(米国国家規格協会)が定める安全規格や OSHA(労働安全衛生局)の労働安全基準に準拠しています。

取得者:大阪シミズ 谷本 鼓子社員(部署:設計部・技術課)

取得日:2025年10月13日

資格の特徴:

- ・国際基準に基づく rigging 技術の実証
- ・吊り構造物の設計・荷重計算・安全管理を高度に行える能力
- ・世界で限られた人数のみが取得



今後に向けて

今回の資格取得により、国際基準で安全かつ確実に作業を行える技術者であることを、海外クライアントにも示せるようになりました。これをきっかけに、大阪シミズは引き続き世界水準の専門技術を持つ人材の育成に努め、より安全で高品質なサービスを国内外の現場で提供できるよう取り組んでまいります。

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

株式会社シミズオクト 経営企画部広報課 TEL : 03-3360-7082 MAIL : info@shimizu-group.co.jp